運営会議たより

6月/2022年/NO.50

発行■特定非営利活動法人鎌倉市市民活動センター運営会議（認定法人）［鎌倉市市民活動センター指定管理者］
TEL0467-60-4555 FAX0467-61-3928 ■E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp ■http:// npo-kama.sakura.ne.jp/uk/

特集：「第23回通常総会報告」

新任の挨拶

この六月から新しく理事長に就任しました小島政行です。皆様からの信任を裏切ることなく、この2年間を先輩諸氏の築き上げた、市民活動の中間支援組織としての機能を拡充する方向をもって鎌倉市民活動の活性化支援に努めていきたいと思います。

少しばかりの懸念があります。それは、理事の、参加団体の、スタッフの、市民の、そして市の私たちNPOセンターとその運営母体である鎌倉市市民活動センター運営会議に対する期待、思惑がはっきりと一致したベクトルとして見えていない現状です。就任してまずは取り組みたい課題が、私たちのミッション（使命）、ビジョン（あるべき姿）、バリュー（強み、価値）を明文化しベクトル合わせをし、わかりやすく、ホームページ、SNSなどで発信していくことです。

ワクワクし、存在感のあるNPOセンターを、ソフト面のみならず、ハード面で心機一転しリニューアルオープンしたい。なるべく早くベクトル合わせをすることにつき、理事会の一致が見られ、幸先の良いスタートが切れています。皆さんが明るく、ワクワクとして足を運び、スタッフと市民活動の諸課題をオープンに話し合える頼りがいのある、市民に存在感のあるNPOセンターを創っていきたいと思います。

その一方で、指定管理業務はもちろんのこと、団体懇話会、NPOフェスティバルなどのイベント、そしてコーディネート力の立ち上げ、プラットフォームの位置づけと拡大など実務が待っています。スタッフの労に感謝するとともに、皆様のお知恵をお貸しいただければ幸いです。

最後に、コロナのピークを越したと思われる昨今において、市民活動が確かな成果を目指し、躍動できますことをお祈りします。

（理事長　小島政行）

■*鎌倉市市民活動センター運営会議（以下、運営会議）は、*
市民活動団体支援を目的とするNPO中間支援組織です

■*運営会議は、鎌倉市NPOセンター（鎌倉・大船）2館の指定管理者です*

■*鎌倉における市民活動の活性化と自立を支援し、共に豊かな地域社会をめざします*

特定非営利活動法人　鎌倉市市民活動センター運営会議
「第23回通常総会報告」

去る5月28日（土）、第23回通常総会が開催されました。
以下、その総会の概要をお知らせいたします。

総会

司会：阿部芳子（理事）
議長：鈴木昭正（正会員）
議事録署名人：望月高明（理事）、今泉直也（理事）
書記：菊田豊明（事務局）

令和4年4月1日現在
正会員数１０３名、正会員の過半数52名
出席者数　正会員出席者27名、委任状出席者数９名、議決権行使者34名　計70名
よって、総会は成立

開会の挨拶

石川勝己（理事長）

市民活動センターの指定管理業務では、入札があったが、無事令和４年度から３年間の指定管理（５期目）を受託することができた。20数年前に市民活動センターを運営するために多くの市民団体が結集し運営会議が発足し、諸先輩の意志を引き継いでここまでやってきた。ＮＰＯセンターを通じて市民活動を継続支援できることを喜ばしく思います。今日の複雑な社会においては、市民活動なしに社会活動が成り立っていかないといっても過言ではない。その中核となる市民活動団体が取り組む社会的課題の解決のために、ＮＰＯセンター、運営会議が市民活動団体の支援組織としてオール鎌倉市民から認められる存在になれれば、と存じます。

評決結果

（１）第１号議案
令和３年度事業報告　賛成70、反対０、賛成過半数で可決

（２）第２号議案
令和３年度決算報告・監査報告
賛成70、反対０、賛成過半数で可決

（３）第３号議案
令和４年度事業計画（案）
賛成70、反対０、賛成過半数で可決

（４）第４号議案
令和４年度活動予算（案）
賛成70、反対０、賛成過半数で可決

（５）第５号議案
定款変更の件
賛成58、反対12、賛成出席者の４分の３以上で可決

（６）第６号議案
役員改選の件11名の立候補者が届出順に所信表明を行う。結果、下記の理事と監事が選出されました。

理事
石川　勝己、入江　麻理子、小島　政行、志倉　知也、西畑　直樹、望月　高明、八木　正、渡邉　敦、
監事
那須　修、岡田　龍子

前期役員代表

（理事長　石川勝己）挨拶

前期の理事８名、監事２名で二年間を全うできましたことをお礼申し上げます。
新体制も合計10名で役員をスタートできますことを喜ばしく存じます。

今年も高校生のボランティア体験を受入れます

今年も13団体のご協力を頂き、高校生が夏休みに市民活動を体験する機会を作ります。

6月から学生の募集を始めますが、昨年は１００名の学生を団体に派遣することができました。受入れていただく団体には準備や当日の対応などで負担がかかりますが、若い人との貴重な接触の機会と捉えて頂き、またこの事業を未来の鎌倉の市民活動を担う人材育成の一環として位置づけてご理解を頂いています。

コロナ禍の影響もありますが、この2年間で地域の社会課題に取り組む大学生の団体が急増し、センターにも登録されました。彼らの中には高校時代のボランティア活動がきっかけで市民活動に関心を持った人も少なからずいるようです。

こうしたこともこの事業の成果であると信じ、今後も継続していきたいと考えています。

市民活動センターに関するアンケートとパブリックコメント

来る7月から鎌倉市長の諮問機関である市民活動推進委員会が一般市民を対象にアンケート調査を開始します。

このアンケートの結果は、同委員会が今後の市民活動センターのあり方を検討するための材料として使われ、また3年後のセンター指定管理者選定時の仕様書にも反映されるものです。

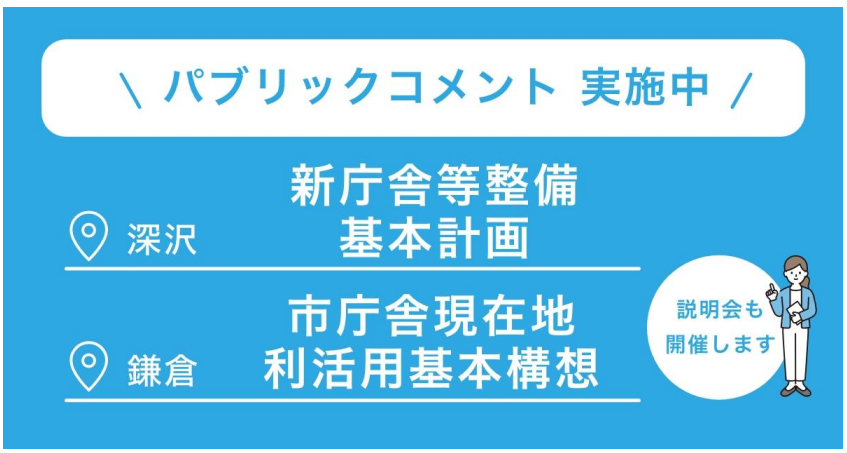
アンケートは市内在住・在勤のどなたでも参加することができますので、この機会に是非、会員の皆さまからも具体的な意見をあげていただきますようお願いいたします。

発足から四半世紀が経ち、市民活動センターに求められる役割・機能も大きく変わりつつあります。運営会議としても時代の変化をとらえ、それに対応するセンター運営を日々更新していきながら、現場を預かる視点を踏まえつつ今後のセンターのあり方について積極的な提言を鎌倉市に行っていく所存です。

また、市庁舎移転後の現庁舎の活用に関するパブリックコメントの募集も始まりました。

こちらの締切りは7月10日です。市が公表している現庁舎の活用イメージの中では市民の交流スペースや民間スペースが位置づけられているようですが、これらがどのような機能を持ち、どのような規模で展開されるかはまだまだ白紙の状態です。

このようなスペースが今後の市民活動の拠点の一つとなることは間違いのないところですので、こちらについても多大な関心を持って皆さまからコメントをいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



「新任理事挨拶」

渡邉　敦

私の市民活動の歴史のスタートは、学生時代の広町の第一回目の署名活動でした。豊かな環境を未来に遺す仕事であったと思います。

現在67歳になり、広町を訪れる時、しみじみといろいろあったけれどよかったなあと思います。

人の想いを合わせ、未来に向けて、企業にも、行政にも得意でないことを、想いの力と汗と涙で乗り越えていくのが、その土地を愛する市民の力と思います。

もちろん、行政や企業やその他の多様な組織が得意技を活かして協力し合うことなしに地域社会をより良く変えて行くことはできないと思います。

そのような活躍の場を整え、サポートのしくみを整え、必死に応援する、そういう組織に皆様と共に成長していけることを切に願い、抱負とさせて頂きます。

（略歴：特定非営利活動法人かながわ環境教育研究会 代表、神奈川県温暖化防止活動推進センター初代事務局長、川崎市環境副読本制作、相模原市環境情報センター初代事務局長他）

「新任理事挨拶」

八木　正

5月28日の総会にて理事に選出いただきました八木正（やぎまさる）です。皆さんからご信任を賜りましたことと改めて御礼申し上げます。

昨年9月に入会したばかりで経験不足は否めませんが、皆さんと共に鎌倉の市民活動を幅広く支援していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

30代のころ仕事で米国に住んでいましたが、親しい60代のご婦人が、高齢者のお宅に食事を配達するボランティアをされていました。当時の日本の市民活動との大きな差を感じると共に、将来の目標のひとつを得たと思ったのが原点になっています。

仕事などの諸事情で、30年以上経てようやくスタートラインです。自身の経験から、仕事と市民活動を両立できる仕組みが充実すれば、幅広い世代の参加が望めるものと考えています。

市民活動の経験不足を他分野の経験で得た視点と案出で補い、貢献させていただく所存です。ご指導よろしくお願いいたします。

会　員　募　集

運営会議は会員によって支えられています。入会随時です。

〈会費〉
正 会 員
　個人正会員　2,000 円
賛助会員
　個人 1,000 円、２口以上
　団体 1,000 円、３口以上
正会員数　　91 名
賛助会員数　　14 名
賛助団体数　178 団体
（6月 10 日現在）

令和３年度　鎌倉市市民活動センター運営会議寄附者リスト

単位：円

吉野　功　（一般）	10,000
高橋　一夫（正会員）	18,000
佐藤　和子　（一般）	1,000
相良　祐子（燁き・遊っ子楽っ子代表）	3,000
那須　修　（正会員）	5,000
原田　賢次（正会員）	8,000
藤原　久江（正会員）	10,000
野間　公治（西鎌倉 CONNENCT 代表）	3,000
大船募金箱	2,203
ファンド部会玉手箱	16,618
あおいニッセイ同和損害保険株式会社	350,000

鎌倉市市民活動センター運営会議は「認定 NPO 法人」格を取得しています
“あなたのご寄附が、鎌倉の街を元気にします”
ご寄附いただいた場合、「寄附金控除」制度が適用され、確定申告で税金の還付が受けられます
お問い合わせはＮＰＯセンターまで！！